

第2次国分寺市健康増進計画（案）に対するパブリック・コメントの意見反映状況

○パブリック・コメントに対する意見について

意見の募集期間：令和5年12月15日（金）から令和6年1月15日（月）まで

意見をお寄せいただいた方の数：3（個人2，団体1）

お寄せいただいた意見の数：7件

計画（案）に反映する意見の数：1件

計画（案）に反映済の意見の数：4件

No.	項目	いただいた意見の概要	市の考え方（案）	反映状況
1	【第4章-1, P.44】 からだ・こころの健康	身体的な健康を保つための運動は、後回しになりがちなため、ライフコースアプローチのイメージ図に「生涯運動」を入れることを提案する。特に幼児期の運動遊びは、生涯運動に繋がりが、健康が保持しやすくなると言われている。	ご意見の趣旨については、図表4-14で示した「からだ・こころの健康に向けた年代別の視点」において、各年代の状況にあった身体活動（運動）を促す必要がある課題として位置づけています。	済
2	【第4章-4, P.67】 からだ・こころの健康	「からだ・こころ分野」の「目指す姿になるために必要な取組」に、「自然に健康になるまちづくり市民会議」を協働で設立する旨を位置づけることを提案する。 計画の基本理念の「すべての人がいきいき健やかに暮らせる街」は市民、地域団体、行政が協働して取り組むことではじめて実現すると考える。	自然に健康になれる環境づくり等のいわゆる「ゼロ次予防」は、今回の改定のポイントになる部分です。このゼロ次予防の推進も含め、健康増進についてより効果的に取り組むことができるようにするため、市民活動団体、企業等と市が協働して進めるあり方について検討することを位置づけることとします。	有
3	【第4章-6】 健康を支える食育	教育委員会や学校栄養士との連携、また、他市の取組などを参考にしながら、国分寺市の子どもたちの食育指針を作成することを並行して取り組むことが、計画策定の趣旨に合っていると考える。	健康増進計画では、「すべての人がいきいき健やかに暮らせるまち 国分寺」という基本理念の実現を目指し、その達成に必要な取組を基本施策として位置づけました。子どもたちに特化した取組については、今後必要に応じてさらなる検討や充実を進めていくべきと考えます。いただいたご意見については、参考として関連部署間で共有させていただきます。	無
4	【第4章-6】 健康を支える食育	食育はとても重要なことであり、計画に位置付けることは推進すべきである。	本計画では、食生活も健康を支える要素のひとつであることを踏まえ、すべての市民が健全な食生活を実践できることを目指し、それに必要な取組を位置づけ、実践していきます。	済
5	【第4章-6】 健康を支える食育	貧困などにより食べることで体が困窮する人も増えつつあり、そのような市民に対してどのような対応が必要かという施策も計画に入れてほしい。	健康を支える食生活を営む前提としての生活支援については、役割分担の観点で地域福祉計画の中で関連する取組を位置づけています。	無
6	【第4章-6】 健康を支える食育	地域福祉計画との関連性を明記してほしい。	地域福祉計画との関連性については「計画の位置づけ」として明記しております。	済
7	【第5章-4】 災害医療・災害時保健活動体制の充実・再整備	特定施策の「災害医療・災害時保健活動体制の充実・再整備」に「避難所や車を避難場所とする方にエコノミークラス症候群にならないマニュアル整備を進める。」ことを位置づけるよう提案する。	ご意見の趣旨も含め、災害関連死を防ぐ観点等から市民の避難生活における健康管理等の保健活動に関する考え方については、今後広く検討し、災害時保健活動に関する計画やマニュアル等として整理するものと考えています。	済